第102号
昭和40年(1965)
6月10日発行

発行人 栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可 毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(4月末日現在)
世帯数 7,611
男 17,764人
女 19,191人
計 36,955人

今月の市税
▷固定資産税 第2期分
▷軽自動車税 随時分
納期 6月30日

刈谷田川改修工事のあらまし

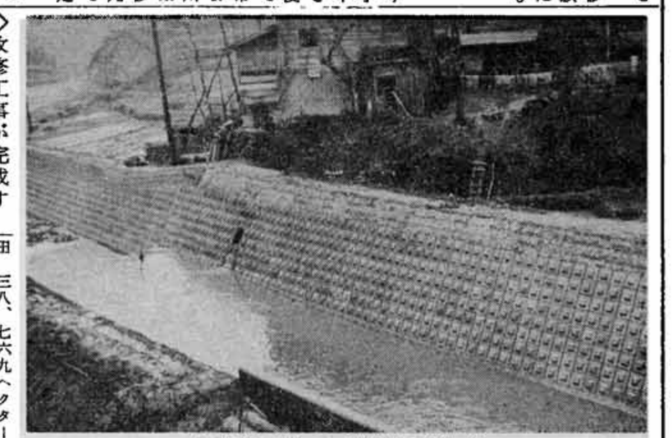
工事額八十五億円
四十四年度までに完成予定

市内に大被害をもたらした昨年の大水害は、まだ、わたしたちの眼前に当時の惨状をまざまざとよみがえらせます。その魔の日ともいうべき七月七日が、また、めぐつてきます。あれから一年近く必死に取り組んできた災害復旧事業もこのところほゞおちつきをみせ、刈谷田川の復旧工事も根本的な改修工事が行なわれることになりました。
次に改修工事のあらましをお知らせします。
工事が早く完成して安心した毎日がおくれるように特別のご協力をお願いします。

昭和三十六年八月五日の豪雨の傷あとも完全になおらぬ昨年七月七日の集中豪雨は、市内刈谷田川流域をはじめ各所に大被害を与えました。
県では、関係市町村の熱心な要望を考えられ、中小河川としては、他に例がない八十五億円の巨費をつかい刈谷田川の全面改修をすることにふみきつたのです。

◇今までの改修工事は
小規模ではありましたが、大正の初期から行なわれており、また、改修工事とあわせて流失土砂を防止するための砂防工事も年々行なわれてきたのです。ところが刈谷田川が典型的な急流であるのと同時に栃尾市内がほとんど全域にわたつて地すべり地帯であるために従来のような規模や工法では、年々のようにおこる異常降雨による洪水に耐えることができないようになつてしまつたのです。しかも、この改修工事の大半は、見附市今町大堰から下流を対象に行なわれてきたものであり、栃尾市内では、市街地の一部分が大正十五年の大水害後行なわれましたが、そのほかはほとんど手がつけられず災害のつど破堤した所だけの応急復旧にひとしい工法しか施されなかつたのです。
このように刈谷田川の改修工事は、流域住民の長年の願いであつて、その願いは、たび重なる洪水とともに強いものになつてきたのです。

◇改修計画のあらましは
信濃川合流点から見附市今町大堰上流までの間は、中小河川改修事業として昭和四十四年度までにだいたい完成させ昭和四十五年、四十六年度の二ヵ年で完成させる計画です。今町大堰上流から栃尾市大字栃堀までの刈谷田川および支川の塩谷川、稚児清水川小支川の山葵谷川については災害復旧助成事業として改修することになり、昭和三十九年度から昭和四十四年度までの六カ年計画で完成する予定になつています。
なお、そのほかの河川については、被災場所のみを復旧するいわゆる災害復旧工事として昭和三十九年度から四年間で完了することになつています。
計画改修の延長と事業費は次表のとおりです。


【写真はできあがつた堤防山葵谷地内】

事業名	河川名	延長	事業費
中小河川改修事業	刈谷田川	9,500m	30億円
災害復旧助成事業	刈谷田川	29,124m	55億円
	塩谷川(含山葵谷川)	20,124m	
	稚児清水川	450m	
災害復旧関連事業その他	稚児清水川	5,000m	
計		64,476m	85億円

◇改修工事が完成すると
このように八十五億円の巨費と八年間の年月を経て改修工事が完成すると次のような数多くの施設、耕地が洪水から救われることが予想されます。
田 三八、七六九ヘクタール
畑 三三、二二二ヘクタール
人家 一一、四〇六戸
公共施設 六七カ所
道路 一一・一キロメートル
軌道 七・五キロメートル
これらのような物的なものよりも第一に考えられることは、中越一帯の何十万人もの人命が洪水による危険から守られると予想されることです。

◇現在の改修工事のすすみぐあいは
すでに昭和三十九年度でも栃尾市内で特に被害の大きかつた栃堀地内の一部、塩谷川の上流、山葵谷川の大半それに稚児清水川の一部が完了しました。また、改修計画樹立と同時に発足した刈谷田川工事事務所によつて四十年度事業計画も本省の認可を受け六月下旬いつせいに工事を発注する段階にきています。

◇こんな心配がある
市内には、現在まだ仮復旧のところが相当数あつて今後の工事の進みぐあいによつては、昨年のような大水害にふたたびあうことがなければよいがと心配されることです。
もし、工事途中で洪水にあうとまたふりだしからやりなおさなければならなくなるからです。
これが大きな心配ごとです

◇みなさんのご協力を
この河川工事だけでなく、すべての工事にもいえることは、用地の交渉、その他の理由で工事に着手するのが意外に遅れた例がよく見受けられます。
今回の河川改修工事実施にあたつても工事の早期復旧のために市民のみなさんのご協力を切望いたします。

就任のあいさつ
災害復旧の早期完成
栃尾市長 千野勝司

このたび市民各位のご推挙によりまして無投票で再度市政を担当することになり、深く感謝するとともにその責務の重大さを痛感いたしております。
× × ×
過去四年間は、市民生活の向上と産業伸展の礎ともいうべき道路交通網の整備を重点施策として進めてまいりました。しかるに昭和三十六年の台風による災害昭和三十八年一月の豪雪、昨年七月七日の集中豪雨による大水害とまつたく災害につぐ災害でこれらの復旧事業を重点施策として推進することを余儀なくされる結果となりました。
この災害復旧事業については、年頭のあいさつにも申しあげましたとおり、橋りようについては、ほとんどが永久構造によつて復旧されることになりました。また、河川についても、約八十億円を投じて今後四ヵ年で大巾な改修が加えられることになり、すでに山葵谷川、塩谷川の上流の一部及び稚児清水川は完工しているところもあります。
× × ×
今後の施策は、昨年の七・七水害の復旧方針が決定している災害復旧事業の早期完成と刈谷田川上流に防災ダム建設の実現を最重点施策としてとりあげて一日も早く市民を災害から守りたいと念じております。
× × ×
次に市の中心部と農村部との格差是正を図るため農村部から経営規模によつては中心部に移住できる農家もあろうと思いますので、できる限り移住叡き経営の合理化を図り、農閑期には工場で働くことによつて農家経済を豊にするため住宅地造成事業の推進と併せて道路整備を期したいと存じております。
× × ×
永年の懸案でありました市庁舎も本年度と明年度で建設することに決定してありますし、また、教育施設の面につきましても関係地域のご協力を得まして、小規模学校の統合を進め、施設整備を図り、教育の振興に努める所存であります。
× × ×
当市の唯一の基幹産業である織物工業につきましては、業界の伸展が即市発展に直結するため、織物工業の振興にも充分意を用えたいと存じております。
× × ×
その他市の発展と市民生活向上のための施策を積極的に推進して参りたいと存じております。
以上所懐の一端を申し上げ就任のあいさつといたします。

防災の心得

日ごろの心がまえが大切

昨年七月七日の集中豪雨で市内に甚大な被害を受けたことは、まだ記憶に新らしいことです。
このような災害は、昨年あつたからことしはないだろうということはいえません。いつまた、発生するかわからない災害に対処するため、次のことを再認識しておきましよう。
災害の被害を最小限度にくいとめるには〃何をなすべきか〃をあらかじめきめて実行することが防災のたいせつな心得です。
「防災の心得」をあげると

今から準備することがら
▽宅地付近、隣接地のがけくずれ、河川ぎわの敷地では、護岸の欠壊など危険のところがないか、また、大雨などで異状がないかを注意すること。
▽危険なカ所の対策は、各人でできるだけ処置すること。
▽天気予報、気象情報をよく聞き注意事項を守り災害に対する準備をととのえること。
▽非常持出袋などを常備し、中にいくらかの食糧(パン類等)飲料水、ロープ、着がえ貴重品、トランジスターラジオ、携帯用電灯など適宜に用意しておくこと。

避難等について
▽老人や子供は、どこへ避難させるかを家族でよく話し合つてきめておくこと。
▽がけに近い家屋に住んでいるかたは、がけくずれに注意すること。また、災害時家の避難口を考えておくこと。
▽長ぐつ、雨かつぱなど活動しやすいものを常に用意しておくこと。
▽家をあけるときは、火の元をよく見て完全に消したうえ戸じまりをすること。

家屋調査を実施
二カ年で家屋の評価替え

市の税務課では、六月一日から昭和四十一年十二月までの二カ年間にわたつて家屋調査を実施します。
これは、いままでの固定資産税が賃貸価格を基礎として税額を算出していましたが、固定資産評価制度が改正され国が示した評価基準にしたがい評価することに法律が定められ、昭和四十二年度分の固定資産税から新しい評価額で課税することになつたためです。
この新しい評価方法は、個々の家屋について現在建てたらどのくらいの費用がかかるかという、いわゆる再建築価格を基準とするものです。

家屋の評定は評点数で
家屋の価格を評点するには直接価格によらないで、評点数によつて格づけし、経過年数(新築してから現在までの年数)による損耗の状況によつて減点して評点数を各個につけるというやりかたです。

調査は戸別訪問で
この評価がえ作業を行なうため、職員が戸別訪問をして家屋の実体を内部まで見せていただき、また、お聞かせいただく場合もあり、ごめいわくをおかけすることもあるかと存じますが、調査にお伺いしました節は、よろしくご協力ください。

地域別調査時期

上塩谷地区	昭四十年	六月中
下塩谷地区	〃	七・八月中
半蔵金地区	〃	八月中
中野俣地区	〃	八月中
西谷地区	〃	九月中
荷頃地区	〃	九・十月中
入東谷地区	〃	十月中
東谷地区	〃	十一月中
栃尾地区(三カ村、小貫土ケ谷含む)	昭和四十一年	一月～十二月

なお、家屋の状況がそれぞれ異るため計画どおり進まないこともあります。

義肢巡回相談実施

次のとおり義肢巡回相談を実施します。
これは、肢体の不自由なかたで義肢をつかう必要のあるかたに対し、医師の判定によつて義肢を製作するとともに現在つかつている義肢の不備の所を修理するものです。
とき 七月六日午前十時～午後三時
ところ 市役所議場
なお、持参いただくものは身体障害者手帳と補装具交付(修理)券です。(厚生課)

チャイムの曲目を変更

一日四回のメロデーを鳴らして、市民のかたがたに親しまれてきたチャイムを七月一日から曲目を次のように変更します。
第一回目 午前八時 君が代
第四回目 午後八時 右同
第二回目、第三回目は、いままでどおりのウエストミンスター寺院の鐘です。

露店市場の出店時間を決める

毎月二十四日金町で行なわれる露店市場の出店時間が決りました。
出店 午前八時三十分
閉店 午後五時(振鈴)
いままでのように出店時間が決めてないと、閉店後の清掃がよく行なわれず、環境衛生に非常に悪いからです。
買物をされるかたは、午後五時までにすませてください。

献血運動に協力しましょう

日本赤十字社では、新聞紙上等で社会問題化している売血によるへい害を防止するため、きれいな血液で国民の生命を守ろうと献血運動をすすめています。
日赤県支部もこれを重点事業として広く県民の協力を呼びかけています。
さる五月二十八日には、採血車である「友愛号」が当市をおとずれ献血を呼びかけたところ市職員、警察署員、保健所職員などの採血が行なわれました。
その結果は、申込者約百人が集りましたが、健康診断の結果不適格者などがあり、今回は、五十三人からの献血が行なわれました。
この献血運動は今後も続けられますので、市民のみなさんがたからの積極的な協力をのぞんでいます。
献血されたかたには、献血者名簿に登録され、万一事故等で血液が不足したときは、優先的にゆずつてもらいます。
献血されるかたは、市厚生課へご連絡ください。

【写真は、友愛号の中での採血】

わが子を不良化から守ろう!!

青少年の不良化がふえる傾向にあります。
青少年の不良化は早いうちに発見することがたいせつです。早く補導するほどなおりが早いからです。
これからは、家庭もいろいろと忙がしくなり、子供の成育に目をむけられないこともありますが、一日に一回くらいは子供の話し相手となつてなごやかに育てましよう。
次に青少年の不良化のきざしを掲げました。参考にしてわが子を不良化から守りましよう。
◎ことばや態度が変る
不良グループとの交際や不健全な遊びをするようになり自然とことば使いが急に荒くなつたりする。
◎うそや、かくしごとが多くなる。
心にやましいことがあると親に話さずかくしごとをするようになる。
◎友達や読み物が悪くなる。
悪い友達、悪い読み物は青少年を不良化におとしいれます。

表札を掲げよう!!
郵便局であつせん

栃尾郵便局では、六月の一カ月間緑の郵便受箱と家族ぐるみの表札を掲げる運動を実施しています。
これは郵便や電報、または小包などできるだけ早くみなさんの所へ届けようとするために行なつているものです。
近ごろ、家族あての郵便物などがふえてきており、同姓の他のかたえまちがつて配達してめいわくをかけていることもあります。また、他の所から移られたかた、他の所へ移つてきたかたの正しい表札がないと配達にも手違いがおこりますから、正しい家族ぐるみの表札を掲げましよう。
郵便局では郵便受箱、家族表札をあつせんしています。

自衛官採用

☆応募資格
入隊する月の一日現在で、満十八才以上二十五才未満の日本国籍を有する男子で、中学校卒業程度の学力をもつている者
☆募集期間
七月一日から九月三十日
☆応募用紙等
応募用紙は、市総務課にありますから、気がるにおいでになつてください。

七月四日 午前七時から午後六時まで
参議院議員選挙投票日
▼みんなで投票いたしましょう

公民館だより

歓声、爆笑、流れる汗で
県民スポーツの日終る

昨年の新潟国体総合優勝の感激とその成果を永久に記念し、更にスポーツを通じて市民生活の明朗化をねらいとして開催された「第一回県民スポーツの日」栃尾、見附ブロックでは、からりと晴れあがつた栃尾・見附両市会場にて来賓を始めスポーツ愛好者大勢が参加して各会場とも熱戦をくり広げ、夜は、民踊、フオークダンスの初心者講習会が開かれるなどスポーツの日にふさわしい一日でありました。
成績は次のとおりです。
一、籠球の部(栃尾中会場)
栃尾中学校24―32見附中学校
◇二十才以下
栃尾チーム41―23見附チーム
◇二十七才以下
栃尾チーム50―30見附チーム
◇二十八才以上
栃尾チーム32―36見附チーム
この結果、年令別対抗戦では、二対二の対スコアとなり各チームの得点により一四七点(栃尾)対一二一点(見附)をもつて栃尾チームが優勝知事杯を獲得しました。
◎栃尾籠協対見附籠協オープン戦
栃尾籠協136―28見附籠協
二、町内対抗リレー(栃尾小) 一位、東町チーム、二位、小貫土ケ谷、三位、土々町、四位、大野、五位仲子町、六位新町、
三、卓球の部(見附小)
◎中学男子の部、一位、北谷中学校、二位、見附中学校A 三位、栃尾中学校A、見附中学校B、◎中学女子の部、一位見附中学校A、二位、見附中学校B、三位、北谷中学校
◎一般男子の部、一位、見附Aチーム、二位、栃尾A、三位、見附B、三位栃尾高校A、
◎一般男子の部 一位、見附Aチーム、二位、栃尾A、三位、栃尾B、三位見附高校、
四、排球の部 一位、栃尾中学校、二位、ISC、三位、近藤商店、三位紺藤整染

(町内対抗の一コマ)

上杉謙信公銅像
秋葉公園に建立

市教育委員会では、さる六月一日秋葉公園で上杉謙信公の銅像除幕式を行ないました。
この銅像は、稲田正三さん(市内仲子町)の寄贈によるものです。
製作者は、彫刻家金子直裕さん(新潟市)です。
謙信公の銅像は、法衣をまとつて座禅しており左手に数珠、右手に軍配を持つた姿は当時の武将がしのばれます。
また、この日は栃尾吟詠会の詩吟と剣舞、新潟市謙信流日本刀截断士会による截断の奉納が来賓外多数の観覧者の見守る中で行なわれました。第二会場(常安寺)では、県文化財調査審議委員長松谷時太郎さんの「上杉謙信と栃尾について」の記念講演会が行なわれ参加者の喜びのうちに全部の催し物が終りました

【除幕された謙信像】

片岡さん岐阜国体出場きまる

第二十回国民体育大会(岐阜国体)山岳部門の予選大会が、さる五月一日から三日まで、守門岳を会場に行なわれました。このほど県本部から岐阜国体に出場する選手の発表があり地元栃尾市から片岡公一さん(大町、電々公社勤務)が県代表として出場することになりました。全市民あげて、声援いたしましよう。

(片岡公一さん)

読書で教養を
図書室を利用しましょう

公民館図書は、寄贈書、新刊書あわせて五千冊を越え関係者一同心から喜んでおります。貸し出しも今までどおり毎週月曜日、金曜日の午前九時から午后五時まで、閲覧もあわせて行なつております。できるだけ、利用しましょう。
昨年十二月に公民館は、大町から現在の市役所第二庁舎(旧栃尾郷病院)に移転しました。図書室も広く、明るい静かなへやを取り、皆さんからよりよく利用してもらうために努力しております。

栃尾市国体及びオリンピック候補選手後援会収支明細報告

昨年の新潟国体及び東京オリンピック大会開催を期に結成された、本市国体及びオリンピック候補選手後援会費の収支明細を同規約第八条により、紙上をとおして、報告し関係各位にたいし、謹んで、お礼申し上げます。

記

一、収入の部
会費及び寄附金 六六、五六三円
利息 二三七円
合計 六六、八〇〇円
二、支出の部
選手後援費 三八、〇〇〇円(三名分)
趣旨書等印刷代 三、〇〇〇円
通信費 二、一〇〇円
合計 四三、一〇〇円
三、差引残高 二三、七〇〇円

◇守門山開き、六月十九日二十日に実施